

「平成 30 年度西日本地域高等専門学校技術職員研修会（機械系）」受講報告

ものづくり系班 内野 拓

平成 30 年 8 月 27～29 にかけて受講した、通称「西日本技術職員研修」について報告いたします。今回は機械系とのことで、機械科所属と工場所属の技術職員総勢 32 名という大人数でした。このため、3 日間のスケジュールのうち、半分が発表で占められておりました。

研修スケジュール

1 日目午前	・講演「スマートホスピタルを目指しての介護・リハビリ・病院内支援ロボットの研究」
〃 午後	・講演「技術系の仕事と気づき」 ・班別討議「支援を要する学生への対応」
〃 夕	・情報交換会
2 日目午前	・講義「オンチップ細胞ファクトリーの実現を目指して」 ・豊橋技科大施設見学
〃 午後	・技術課題の発表 1 12 名
3 日目午前	・技術課題の発表 2 8 名
〃 午後	・技術課題の発表 3 9 名

班別討議については、車椅子学生に対し実習をどのように受けてもらうかについて、各高専で工夫しているようでした。また、支援を要する学生に対して、実習手順の説明やレポート指導で皆苦労しているとのことでした。逆に「特別扱いしない、通常通りの指導をする」という意見もありました。

発表内容には、「実習内容」「資格取得」「公開講座」「研究および開発」についてのものが多く見られました。「メコン川の川底地形のソナー調査」など面白い報告がいくつもありません。

各高専の技術職員の実習等に対する取り組みは実にさまざまで、非常に良い刺激になりました。

